

会議概要

会議名 : 平成28年度第2回益田市入札・契約適正化委員会

日時 : 平成28年11月18日(金) 13:15～

場所 : 市役所分館 3階 B会議室

委員 : 林 秀司 (大学教授)、丸亀日出和 (弁護士)
大野利昭 (税理士)、前田邦男 (学識経験者)

出席者 : 委員4名、事務局2名

議 事

(1) 平成28年度前期 入札結果状況について

入札結果の比較

平成27年度9月末 入札結果

入札件数 工事関係

総合評価	2 件
一般競争入札	1 件
簡易型一般競争入札	35 件
指名競争入札	80 件
小計	118 件

平成28年度9月末 入札結果

入札件数 工事関係

総合評価	6 件
一般競争入札	0 件
簡易型一般競争入札	34 件
指名競争入札	52 件
小計	92 件

入札件数 物品関係

総合評価	0 件
一般競争入札	4 件
簡易型一般競争入札	3 件
指名競争入札	73 件
小計	80 件

入札件数 物品関係

総合評価	0 件
一般競争入札	9 件
簡易型一般競争入札	1 件
指名競争入札	25 件
小計	35 件

入札件数 合計 198 件

入札件数 合計 127 件

予定価格・落札金額 工事関係

予定価格	1,501,227,000 円
落札金額	1,430,966,000 円
総落札率	95.32%

予定価格・落札金額 工事関係

予定価格	1,198,135,600 円
落札金額	1,141,170,000 円
総落札率	95.25%

予定価格・落札金額 物品関係

予定価格	474,082,047 円
落札金額	417,344,049 円
総落札率	88.03%

予定価格・落札金額 物品関係

予定価格	409,242,797 円
落札金額	393,942,595 円
総落札率	96.26%

予定価格・落札金額 合計

予定価格	1,975,309,047 円
落札金額	1,848,310,049 円
総落札率	93.57%

予定価格・落札金額 合計

予定価格	1,607,378,397 円
落札金額	1,535,112,595 円
総落札率	95.50%

1 建設工事（建設工事関連業務委託を含む）における発注件数・発注金額について

平成27年度前期は、公共施設の耐震化事業及び学校給食調理場施設整備等の事業があったことにより、平成28年度前期の建設工事の発注件数並びに発注金額の減少の原因となっている。

また、物品・役務の提供の差異については、今年度より開札日を基準とした集計に変更したためであり、平成27年度の件数には、平成26年度末に開札を行った平成27年度発注業務の件数が含まれており、平成28年度については4月以降の開札日の件数としたため、差異が大きくなっている。

2 高落札率について

全体の落札率では、災害工事関係、本庁舎耐震化工事、高津学校給食センター等の備品購入が無くなり平常化したことにより落札率が高くなっていると思われる。また、平成27年度当初に最低制限価格及び調査基準価格を見直した結果、今年度の前期についても落札率が95%を超える、高落札率となっている。

平成27年度9月末 低入札調査

最低制限失格	11	件
	36	者

平成28年度9月末 低入札調査等

最低制限失格	14	件
	35	者

低入札	4	件
	4	者

低入札	4	件
	5	者

数値的判断基準失格	0	件
	0	者

数値的判断基準失格	0	件
	0	者

低入札調査失格	2	件
	2	者

低入札調査失格	0	件
	0	者

低入札での契約	2	者	低入札での契約	0	者
---------	---	---	---------	---	---

3 最低制限価格失格及び低入札の増加について

最低制限価格及び調査基準価格については、見直しにより、工種ごとのばらつきもあるが、試算で設計金額の90%から93%程度の間を設定されている。平成27年度以降は本市及び近隣の災害工事も終了したことにより、入札参加業者（特に業者数が多い、中間ランクの土木業者）が最低制限価格を目標にして応札した結果、見積りを誤って最低制限価格を下回り、失格になるケースが見られた。

低入札は主に総合評価と業務委託で発生しており、失格は4件、5者であった。低入札調査後の契約については0件である。（前年は低入札による契約は2件あった。）

4 入札の不落について

前年度に引き続き、入札の不落の案件が多いことについて、考えられる理由としては、下請業者の不足・職人不足、資材の高騰等により見積金額が高くなっていることが考えられる。

(2) 抽出案件の審議（平成28年度上半期4月～9月分）

建設工事：総合評価方式一般競争入札（2件）

①市道都茂市金線災害防除工事（10101）

【委員】この工事は特別簡易型総合評価方式で入札が行われており、予定価格が高額であったので抽出した。

【事務局】本工事は自然災害により崩壊した山腹を切りなおし、法面保護を行うことにより下方市道の通行の安全を確保する工事であり、高度な技術を要さず、技術的な工夫の余地が比較的少ない工事であることから「特別簡易型総合評価」で、企業成績、技術者の資格能力、地域貢献度等の価格以外の要素と価格とを総合的に評価して行う入札とした。

入札参加資格として、益田市内に主たる営業所を有する者で、土木一式工事の総合点数が850点以上の者とした。

施工実績については、県内公共工事において元請けとして過去15年間に1契約3,000万円以上の土木一式工事の施工実績を求め、配置技術者は1級土木施工管理技士、1級建設機械施工管理技士、技術士、国土交通大臣認定者を専任で配置できることとした。

入札状況について

本件入札には、調査基準価格（57,581,000円）が設定されており、特別簡易型総合評価一般競争入札を行い、5者の申請があり、5者の競争参加資格が確認された。開札したところ、応札した全者は予定価格以内であったが、2者は調査基準価格を下回ったため、数値的判断基準を実施し合格となったので、全者にて総合評価を実施したところ、最高評価値であった榑野村組を益田

市競争参加資格審査会で落札者とした。

落札率 90.71%

- 【委員】地域貢献度の加点はどのように判断しているのか。
【事務局】災害復旧については、受注した件数。除雪は、契約の有無で加点する。
【委員】福祉や、ボランティア等の確認はどうしているのか。
【事務局】それぞれ求めたことに対する確認できるものを提出してもらっている。
【委員】項目の決まったものがあるのか。
【事務局】工事内容や場所等で求める項目は変更される。

②安田小学校屋内運動場改築（建築）工事（10202）

- 【委員】総合評価が機能していないようなので抽出した。
【事務局】本工事は、安田小学校屋内運動場の老朽化（築S45年）に伴い解体工事後に新たに屋内運動場を建築するものであり、主要室であるアリーナ部分については面積も広く、重要構成部位である床及び、上位構造体の耐久性や維持についての「品質確保」を求め、また、本工事敷地には既存校舎が立地し、周辺は通学路でもあることから「工事期間中の安全確保対策」について「施工上の留意点」を評価項目として、優れた提案を受け安全で高品質の施設となるよう「簡易型総合評価方式」とした。

入札参加資格として、益田市内に営業所を有する者で、建築一式工事の総合点数が850点以上の者とした。

施工実績については、元請けとして過去15年間に1契約5,000万円以上の建築一式工事を施工した実績を求め、配置技術者は1級建築士、1級建築施工管理技士又は国土交通大臣認定者を専任で配置できることとした。

入札状況について

本件入札には、調査基準価格（209,203,000円）が設定されている。簡易型総合評価一般競争入札を行い、2者の申請があり、2者の競争参加資格が確認された。開札したところ、全者が予定価格超過であり、2回目の入札において1者が辞退し、1者のみが応札され、予定価格以内、調査基準価格以上であったので、総合評価を実施し、益田市競争参加資格審査会で共同企業体である高橋建設㈱を落札者とした。

落札率 98.99%

- 【委員】総合評価が機能していないように思えるが、どうしたら機能するようになるのか。
【事務局】参加業者が増えれば良いが、業者の全体数が少ないので難しい問題である。
【委員】共同企業体は、どのような案件でも入れるのか。
【事務局】金額が決められており、それ以上の工事であれば入ることができる。
【委員】項目内容によって、参加を見送る業者もいるのではないのか。
【事務局】可能性はある。

【委員】総合評価の機能問題については、今後も検討課題としていきたい。

建設工事：(簡易型) 一般競争入札（2件）

③市道金山小杉線道路改良工事（11104）

【委員】大きな工事では無いのに参加者が多いので抽出した。

【事務局】この路線は、国道と県道を結ぶ主要な市道であり、狭隘な幅員の拡幅を図る工事である。

継続して行っている路線であり、今回の工事内容は、市道に隣接した山林の法面を切り取り道路幅員を確保する内容であり、一般競争入札（簡易型）により行うこととした。

競争参加資格として、市内に主たる営業所を有する者で、土木一式工事の総合点数が650点以上850点未満の者、または、総合点数が850点以上でかつ鎌手地区に主たる営業所を有する者で、県内公共工事において元請けとして過去15年間に1契約1,000万円以上の土木一式の施工実績を求め、配置技術者は、1・2級土木施工管理技士、1・2級建設機械施工技士、技術士、国土交通大臣認定者を専任で配置できることとした。

入札状況について

本件入札には、最低制限価格（20,701,000円）を設定し、12者の応札があり、全者予定価格以内であったが、5者が最低制限価格以下で失格となった。最低制限価格以上の最低価格応札者が3者おり、くじ引きを行い、益田市競争参加資格審査会で東西建設(有)を落札者とした。

落札率91.68%

【事務局】この工事は、法面の切取工事であり、業者にとって参加しやすい業務と聞いている。また、面積や立米によって積算も行いやすいと聞いている。

【委員】主たる営業所とは。

【事務局】市内の本店のことである。市内業者を優先し選定している。

④市道丸茂三隅線法面整備工事（11110）

【委員】前件と同じく法面工事だが、参加業者が少ないので抽出した。

【事務局】この路線は、継続して改良を行っている路線であり、路線の一部法面が崩れ補修を行うための工事である。

工事内容は、高度な技術を要しない法面の修復を行う内容であり、一般競争入札（簡易型）により行うこととした。

競争参加資格として、市内に主たる営業所、又は、準市内業者若しくは支店有業者の認定を受けた者で、とび・土工・コンクリート工事（法面処理）の総合点数が750点以上の者で、県内公共工事において元請けとして過去15年間に1契約1,000万円以上の法面工事の施工実績を求め、配置技術者は、

1・2級土木施工管理技士、1・2級建設機械施工技士、技術士、国土交通大臣認定者を専任で配置できることとした。

入札状況について

本件入札には、最低制限価格（24,912,000円）を設定し、4者の応札があり、2者は予定価格超過であったが、2者が予定価格以内、最低制限価格以上であり、益田市競争参加資格審査会で最低価格応札者の安野産業㈱を落札者とした。

落札率99.80%

【事務局】前件は法面の切取の工事であり、土木一式での工事であるが、本件は災害復旧工事であり、業者数の少ない「とび・土工・コンクリート工事」での選定なので参加が少なかったと思われる。

建設工事：指名競争入札（1件）

⑤市営原浜住宅2・3号棟住戸改善設備工事（13304）

【委員】指名競争で指名業者が多いのに参加業者が少なかったので抽出した。

【事務局】この工事は、築56年の市営住宅の改修であり、電気配線等が古い対応能力しかなく現代の電気製品化に対応できるようにしたものである。

1回目の入札では予定価格超過で、2回目として競争参加資格を、市内に主たる営業所、又は、準市内業者若しくは支店有業者の認定を受けた者で、電気工事に登録のある者を選定した。

入札状況について

指名競争入札では、最低制限価格（3,491,000円）を設定し、1回目の入札では2者の参加があったが、全者予定価格超過、2回目の入札でも2社の参加があったが、1者は予定価格を超過しており、1者が予定価格以内、最低制限価格以上であったので北陽電気工事㈱を落札者とした。

落札率96.00%

【委員】1回目が9者中2者の参加で、2回目は17者中2者の参加とあるが、なぜ少ないのか。

【事務局】1回目は市内業者を優先に選定しているが、不落となったため、選定業者を拡げ営業所も参加できるように選定した。

【委員】1回目の2者と、2回目の2者は同じなのか。

【事務局】同じである。参加が少ない理由は分からない。今年度の電気工事は各者忙しいようなことを聞いている。

建設コンサルタント：（簡易型）一般競争入札（1件）

⑥平成28年度地籍測量業務委託（久原1 CDFG複図）（21201）

【委員】違う種類の工種を抽出した。

【事務局】この業務は、益田市管内を計画的に地籍測量しているものであり、この案件は美都町久原地区（面積：1.14km²）の地籍測量を行うものである。

競争参加資格として、益田市内に主たる営業所を有し、益田市測量業務等有資格者名簿に登録され、測量士を3名以上雇用しており、地籍調査管理技術者の資格を有し、土地家屋調査士外5のいずれかの資格を有し、かつ、FG工程において過去5年間に主任技術者の実績を有する者とした。

入札状況について

本件入札には調査基準価格（13,806,000円）が設定されている。

益田市建設工事等簡易型一般競争入札実施要綱第3条第1項による簡易型一般競争入札を実施したところ、7者の申請、応札があった。

開札したところ、全者が予定価格以内、調査基準価格以上であり最低価格で応札した(株)岡崎測量を益田市競争参加資格審査会で落札者とした。

落札率98.60%

【委員】CDFGとは何か。

【事務局】それぞれの工程をアルファベットで表したものである。

【委員】落札率が高いのはなぜか。

【事務局】調査する広さや内容が分かれば同じような積算となる。

建設コンサルタント：指名競争入札（2件）

⑦益田市効率的汚水処理整備計画策定業務委託（23207）

【委員】落札率が低かったので抽出した。

【事務局】この業務は、益田市下水道基本計画及び汚水処理施設整備構想の策定を行うものである。

競争参加資格として、市内に営業所を有し、建設コンサルタント（下水道部門）に登録があり、管理技術者及び照査技術者として技術士（下水道）、RC CM（下水道）、国土交通大臣認定者を各々配置できる者を選定した。

入札状況について

指名競争入札では、調査基準価格（4,883,000円）を設定し、8者の応札があったが、2者は予定価格超過であり、6者は予定価格以内、調査基準価格以上であったので、最低価格で入札した(株)建設技術研究所を落札者とした。

落札率73.34%

【委員】調査基準価格丁度で落札している。

【委員】落札業者は、構想や計画について実績も多い。

【委員】このような業務を、市内業者で対応できる場所が無い。

【委員】コンサルの業務は、全体的に落札率が低い。

⑧準用河川今市川用地測量業務委託 (23211)

【委員】金額が小さいのに多くの業者が参加しており、低い落札率だったので抽出した。

【事務局】この業務は、準用河川今市川の拡幅工事を行うための事前測量業務であり、用地調査1.5百m²の用地測量、現地踏査、境界確認、用地実測図原図等の作成を行うものである。

競争参加資格として、補償コンサルタント（土地調査部門）又は土地家屋調査士事務所に登録のあり、益田市内に営業所を有する者で、主任技術者として補償業務管理士（土地調査部門）、土地調査に関して7年以上の実務経験を有する者、または、土地家屋調査士のいずれかを配置できるものとした。

入札状況について

本件入札には調査基準価格（458,000円）が設定されている。

指名競争入札を実施したところ、11者の応札があり、開札したところ、全者が予定価格以内であったので、最低応札者の(株)大建コンサルタントを落札者とした。

落札率77.17%

【事務局】測量業務については、全体的にも参加が多い。

落札率が低い理由については、下流域の県事業で同業者が受注しており、近隣の状況等を把握できているからと思われる。

物品調達：一般競争入札（1件）

⑨益田市立中学校教育用コンピュータシステム更新業務(リース対象物件) (31008)

【委員】金額が高額、高落札率なので抽出した。

【事務局】この業務は、平成22年に設置した市内12中学校及び教育委員会の教育用コンピュータシステムの更新であり、校内LAN、ネットワーク設定及び保守管理費を含めた入札である。

なお、この入札で決定された納入業者は覚書を締結し、後日行われるリース契約落札業者と契約を結ぶこととしている。

入札参加資格は、市内に営業所を有する者で、益田市物品の売買等入札参加資格名簿に登録の大分類「文具・事務用機器類」小分類「OA機器」に届出のある者で、SEの常駐したサービス拠点が益田市内にあり、保守に関して、緊急対応が可能な者とした。

入札状況について

本入札には最低制限価格は設定されていない。

想定参加業者3者のうち、2者の申請があり、資格審査を行ったところ2者の参加資格が確認された。開札の結果、1回目は全者が予定価格超過であり、2回目は1者が予定価格超過となり、予定価格以内であった(株)タイピックを落

札者とした。

落札率99.78%

【事務局】納入業者の決定であり、後日にこの額をもってリース会社と6年間の月額リース料を決定するものである。

【委員】落札率が高いのはなぜか。

【事務局】広島の実績のある業者で内容や積算を確認してもらっているのので、上限ぎりぎりの価格設定になっているのだと思われる。

【委員】市内本店業者か、何者あるのか。

【事務局】システム等の対応可能な業者が、営業所も含め3者あり、今回は2者の参加であった。

以上